

## 19 函館市青函連絡船記念館摩周丸

### 津軽海峡を航行した連絡船は当時の面影を知る博物館

本州と北海道を結ぶ交通機関として明治後期から活躍した青函連絡船は、1988(昭和63)年の青函トンネル開業に伴って廃止されました。北海道の玄関口となったかつての函館棧橋には、鮮やかな白と青の船体色、美しいフォルムから「海峡の女王」と呼ばれた「摩周丸」が係留展示されています。博物館に改装された船内には操舵室をはじめ、いす席やカーペット席、資料展示があり、航行当時を回顧できます。また、海拔15mのコンパス甲板は、函館港内を吹き抜ける潮風を肌で感じ取れる、眺望抜群の隠れスポットです。



住所	〒040-0063 函館市若松町 12番地先
電話番号	0138-27-2500
FAX番号	0138-27-2550
営業時間	8:30~18:00(4~10月)、 9:00~17:00(11~3月)
定休日	無(臨時休館の場合有)
駐車場	近隣に棧橋駐車場など有
アクセス	函館空港から車で約25分 JR函館駅から徒歩で約4分 函館港フェリーターミナルから車で 約20分

#### 料金／

<個人>一般500円、高校・中学・小学生250円

<団体(20人以上)>一般400円、高校・中学・小学生200円

#### 備考／

喫茶コーナー、売店



かつて長きにわたり航海をつかさどった操舵室



コンパス甲板からの眺望